



# 『地ケア』

川崎市では、高齢者だけでなく、障害のある方、子ども、子育て中の親など今はケアを必要としていない方を含めたすべての市民を対象として、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けていけるように、地域でのつながりや支え合いの仕組みづくり（「地域包括ケアシステム」略して「地ケア」）を進めています。生きがいづくりや健康づくり、介護予防などの「自分自身のケア（自助）」と周りの人同士の助け合い、町内会・自治会活動、ボランティア活動などの「みんなの支え合い（互助）」を一人ひとりが進めていくことが第一歩です。今回は「子ども」をテーマにした地域活動を紹介します。まずは地域の活動を知ることからはじめてみませんか？ 素敵な出会いや居場所が見つかるかもしれませんね！

地ケアがわかる！マンガについてはこちら



多摩区の地ケアの取組についてはこちら



地ケアTAMAバックナンバーはこちら



発行・連絡先：多摩区役所地域みまもり支援センター 地域ケア推進課  
 〒214-8570 川崎市多摩区登戸1775番地1  
 電話 044-935-3241 FAX 044-935-3276

## 地域のつなぎ役 民生委員児童委員

2022(令和4)年12月1日に民生委員児童委員が一斉に改選されます！

- ★民生委員児童委員とは？  
住民からの相談に応じて、適切な支援やサービスへのつなぎ役を担い、ボランティアとして見守りや交流活動等を行っています。児童福祉を専門に担当する主任児童委員もいます。
- ★任期はあるの？  
任期は3年で、今回委嘱される方の任期は2025(令和7)年11月30日までです。
- ★民生委員児童委員になるには？  
町内会・自治会など地域から推薦を受けて選出されます。年齢要件や活動内容等、詳しくはHP・リーフレットをご参照ください。



### こんな活動をしています！

|          |           |           |
|----------|-----------|-----------|
| ①見守る<br> | ②交流する<br> | ③話し合う<br> |
|----------|-----------|-----------|

**民生委員児童委員さんの声**  
 ・地域に貢献できるように頑張っています。  
 ・支援が必要な人から「ありがとう」と言われたことが心に残っています。

私たちの近くで今日も活躍している民生委員児童委員を応援してください！

### 気軽にお立ち寄りください「生田出張所の多目的スペース」



多目的スペース全体の様子

2021(令和3)年6月に新しくオープンした生田出張所の3階に、どなたでも利用できるフリースペースがあります。室内には、絵本のあるキッズコーナーや机・イスがあり、グループでの打ち合わせや懇談にも利用できます。お気軽にお立ち寄りください。



同じフロアにある授乳室



日替わりで絵本を配架



生田出張所に関する情報はこちら

- \* 利用時間 月～金(祝日は除く) 8時30分～17時00分
- \* フリーWi-Fiが利用できます。
- \* 利用時のお願い
  - ・お越しの際は、駐車スペースに限りがあるため、公共交通機関をご利用ください。

連絡先：多摩区役所区民サービス部生田出張所  
 〒214-0038 川崎市多摩区生田7丁目16番1号  
 電話 044-933-7111 FAX 044-934-8319

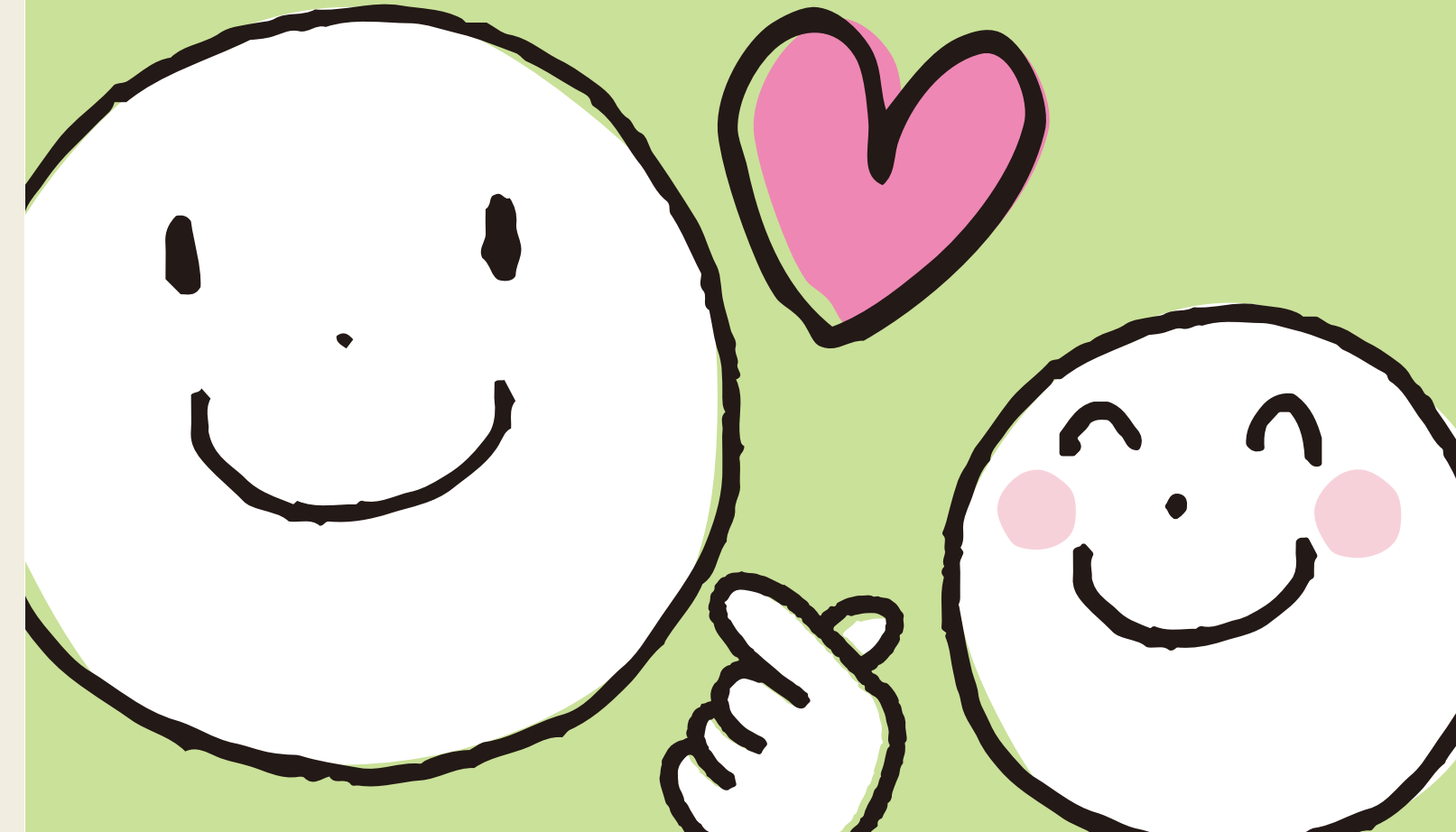
# 地ケア TAMA

## vol.3

川崎市多摩区地域包括ケアシステム広報誌 地ケアTAMA

- 📍地ケアって？
- 📍地域で活動している団体の紹介  
多摩区子ども会連合会 「自由に遊び、多様な経験をすることで自主性が育つ」  
多摩区ソーシャルデザインセンター 子ども食堂 「食をきっかけにして、地域のつながりが生まれる」  
おしゃべりサロン 「いちにのさん!」「誰もが気軽に集える、憩いの場を目指して」
- 📍地域のつなぎ役 民生委員児童委員
- 📍生田出張所 多目的スペースの紹介

## 地ケアって





## 多摩区子ども会連合会



Federation of children's association



### 地域と子どもたちがつながる 多彩なイベントを実施

川崎市は全国的に見ても子ども会の活動が盛んです。多摩区子ども会では5つの地域ごとの活動のほか、区や市のイベント参加など、様々な活動を行っています。町内会などと連携し、地域に根ざしたイベントも多く、地域と子どもたちのつながりの場としても機能していると感じています。



コロナ禍で行動制限が伴う時期ですが、工夫を重ねて交流の機会を減らさないようにしています。子どもと大人のアイデアで乗り切っていきたいです。



子どもたちの  
好奇心を引き出し、  
健やかに成長していく  
姿を見守っています



川崎市子ども会連盟副連盟長  
多摩区子ども会連合会会長  
大津博之さん

### 子ども会の活動に参加しませんか？

子ども会は多摩区に住んでいる18歳までの子どもなら誰でも参加可能です。加入後も、どんなイベントに参加するかは自由です。興味のあるテーマからはじめて、地域との繋がりを広げてみませんか？子どもたちをサポートする18歳以上の指導者、リーダーの参加もお待ちしております。

連絡先：多摩区子ども会連合会 大津博之会長  
☎ 044-900-2483 HPはこちら▶



自由に遊び、多様な経験をする中で自主性が育つ

### 子どもたちの成長を 地域で見守り、支えていく

時代や社会が変化していくのと同じように、子どもたちの暮らす環境も変わりつつありますが、子ども会の役割の根底にあるものは、設立以来一貫しています。それは、「家庭と学校の間にある組織として、地域で子どもたちを育て、見守り、支えていく」ことです。様々な遊びやイベント、世代を越えた交流を通じて、子どもたちの健全な心身の育成をサポートできる環境をつくり続けていきたいです。

「子どもたちによる子ども会」であることを大切に、私たち大人はあくまでもバックアップする立場です。小さな子どもたちが、リーダーシップをとって活躍するお兄さんやお姉さんに憧れ、先輩たちのようになりたいと自主的に成長していく、そんな関係を築いてほしいと思います。

### 様々な経験が 可能性を広げるきっかけに

野球大会をはじめとするスポーツ活動、キャンプなどの野外活動、社会見学、文化や伝統芸能に関するイベントなど、子どもたちが自分の興味がある活動に参加できるよう、幅広い活動をしています。中でも羽根つき大会は、川崎市が日本で唯一公式ルールを定めて行っている珍しいイベントです。



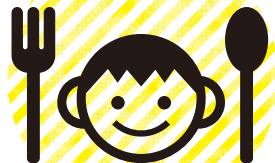
また、多摩消防署と連携して、小学校高学年の選抜会員からなる「多摩地区少年消防クラブ」を結成し、消防署の訓練体験や防災施設の見学などを実施しています。防災意識を高める機会となり、いざというときに対応できる力が育まれています。

ジャンルにとらわれず、様々な経験をしてもらうことで、そこからどんな才能が輝くか見守りながら、子どもたちの可能性を広げていきたいと思っています。



## 多摩区ソーシャルデザインセンター(多摩SDC)

### 子ども食堂



Children's cafeteria

カフェを利用した子ども食堂の様子



区役所内での子ども食堂の様子

### 子ども食堂を通じて 住民同士の交流を

「この子ども食堂が、子育て世代の交流の機会や、大学生をはじめとする若者たちの地域参加のきっかけになれば」との思いから、2020年に運営を始めました。

川崎市には様々な理念で運営している子ども食堂があります。その中で私たち多摩区ソーシャルデザインセンター(多摩SDC)では、「地域の課題を解決するための中間支援を行う組織」という強みを生かした子ども食堂をオープンしています。



### 誰もが気軽に集まれる 地域の食卓としての役割

地域に暮らす人たちの助け合いのシステム、その入口としてこの子ども食堂があります。こうした場があることによって、小さな子どもを持つ保護者たちが、子育ての悩みの相談や子育て支援制度の情報を得たり、夕食作りを一日休んでのんびりしてもらうことができらうれしいです。また、スタッフたちと会話をすることで、息抜きや気分転換になるという声もいただいています。

多摩SDCでは、区内5か所で開催される子ども食堂の運営支援をするほか、区役所の一角で子ども食堂を運営しています。カレーの提供が基本ですが、会場によっては独自のメニューも用意されています。子どもだけ、大人だけでなくも気軽に子ども食堂に遊びに来てもらうことで、地域交流が生まれ、新しいつながりが広がっていくことを期待しています。



食をきっかけにして、地域のつながりが生まれる

### みんなの話し相手になって 居場所を作っていきたい

大学で学んでいる栄養学の知識と、子どもが好きな気持ちの両方を生かせると思い、子ども食堂の活動に取り組んでいます。運営する多摩SDCでは、他にも様々な地域のコミュニティイベントを主催していて、日常の大学生活では関われないような人たちと一緒に、多様な取組に参加できる面白さを感じています。

子ども食堂でたくさんの子どもたちと関わる楽しさはもちろん、保護者の方々と会話の時間も充実しています。子ども食堂に何を求めているかは人それぞれです。私たちスタッフはそのニーズをじっくり聞き、みなさんとよい時間を共有していきたいです。



多摩区ソーシャルデザインセンター  
学生代表 堀川華那さん

子ども食堂を  
人と人が新しく  
つながる場所に  
していきたい



多摩区ソーシャルデザインセンター  
事務局長 俵隆典さん

### 利用する人、運営する人どちらも大歓迎

毎月一回多摩区役所やデイサービス施設、カフェなど、多摩区内6か所で開催しています。食事を楽しみたい子どもや保護者、ボランティアとしてサポートしたい学生、場所を提供したいお店、どなたでも声をかけてください。また、食材提供などの寄付も募集中です。

連絡先：多摩SDC事務所(多摩区役所1階)  
(平日10~16時)  
☎ 044-281-4422  
✉ toiwase@tama-sdc.com



HPはこちら



## おしゃべりサロン 「いちにのさん!」



Chatting salon



### 子どもや子育て世代と 地域の高齢者の接点に

これまで稲田小学校で開催していた「子育てサロン「いちにのさん!」」を、新たなボランティアスタッフにより、2022年4月から「長尾老人いこいの家」で多世代交流を目的としたおしゃべりサロンとしてリニューアルして再開しました。

長尾地域において、小さな子どもを持つ家庭をサポートできる環境をつくっていくため、まずはこのサロンで、子どもや子育て世代と地域の高齢者が交流するきっかけとなるよう開催しています。



### 世代を越えて楽しめる イベントで交流を深める

みなさんでおしゃべりをしながら気軽に集えるサロンを開催しています。アロマオイルでのハンドマッサージやわらべ唄の紹介、おもちゃ作りなど、親子でも楽しめるイベントを企画して参加者をお迎えています。



参加者のみなさんに季節を感じてもらえるようなイベントも増やしていく予定です。このサロンを地域の方々が憩える新しい居場所にしていきます。

### 幅広い年齢の人たちが 集う憩いの場

子どもや子育て世代の交流だけでなく、子育てサロンを運営するボランティアスタッフ、そして人生の先輩であるいこいの家の利用者さんたちが、気軽に集まり、会話ができる場が「いちにのさん!」です。多世代だからこそ

得られる情報、話題を楽しんでもらえたらと思っています。ボランティアスタッフには学生や定年退職された方のほか、元保育士や子育て経験を持つ方などが参加しているので、子育ての悩み、つらさ、孤独感なども共感できると思います。子どもをボランティアスタッフに預けてちょっと一休みし、参加者同士でお話をする時間を楽しんでいただけたら嬉しいです。

また、子どもたちとの触れ合いは、地域に暮らす高齢者の方々にとって元気の源です。ここに集まるみなさんが、それぞれにできることを持ち寄り、影響し合うことで、多くの交流が生まれていくことを願っています。



おしゃべりサロン「いちにのさん!」  
ボランティアスタッフと  
社協職員のみなさん

高齢者と子どもをつなぎ  
多世代交流を育む  
サロンです

### おしゃべりサロン「いちにのさん!」に参加しませんか？

長尾老人いこいの家で毎月一回開催。就学前の子どもと保護者同士の交流に加え、いこいの家を利用している高齢者の参加も可能です。広いホールでおしゃべりをしたり、イベントに参加したり、のびのび過ごせる環境を用意しています。ボランティアスタッフ希望の方もお問い合わせください。



開催日時：原則毎月第4水曜日  
午前10時~11時30分  
連絡先：川崎市多摩区社会福祉協議会  
☎ 044-935-5500



HPはこちら

### 長尾地区にはこちらのサロンもあります

## 長尾親と子のひろば

開催日 毎月第3水曜日(8月は休み)  
場所 長尾子ども文化センター  
対象 1歳6か月までのお子さんと保護者

自由なおしゃべり、友達作り、手遊び、  
保健師による育児相談などをおこなっています。  
気軽にどご参加ください(予約制)。

連絡先：多摩区役所地域支援課 ☎ 044-935-3264